

## AIMaP 研究集会等実施報告書

(Part 1/4) 名称・重点テーマ・キーワード等

項目	内容
名称	次世代産業の数理スタディグループ キックオフミーティング
採択番号	2017A020_1
重点テーマ	ビッグデータにおける動的構造抽出と特異現象の予測、計算資源の最適化と制御の数理
キーワード	最適化、流体力学、制御理論、ネットワーク、グラフ理論
主催機関	名古屋大学大学院多元数理科学研究科
運営責任者	納谷 信（名古屋大学）
開催日時(開始)	2017/10/6 13:30
開催日時(終了)	2017/10/6 17:00
開催場所	名古屋大学多元数理科学棟 509号室

(Part 2/4) 最終プログラム・参加者数

項目	内容
最終 プログラム	司会 大平 徹 氏 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科教授) 13:30~13:40 挨拶 納谷 信 氏 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科教授) 13:45~14:30 数学スタディグループについて 趣旨 昨年実績 今年度のスケジュール 木村芳文 氏 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科教授) 14:30~16:00 参加希望企業からの発表 会社紹介 数学スタディグループに期待すること, 取り組みたいテーマ説明 など
	参加者数

(Part 3/4) 論点・現状・今後の展開

項目	内容
当日の論点	今年度のスタディグループを開始するに当たり、事業の趣旨を確認し、参加企業2社からテーマの内容と研究の実施方法、並びに今後のスケジュールについて明らかにすること。
研究の現状と課題（既にできていること、できていないことの切り分け）	研究の第一段階として、昨年度の実施内容、実施方法との相違を明らかにし、参加企業からの問題意識の提示を受け、今年度のテーマの内容とその目標を明らかにすることに主眼を置いた。参加する学生の興味やバックグラウンド、或はこれまでの研究内容などとの擦り合わせを行い、問題を深化させる作業は次のステージへの課題であるとする。
新たに明らかになった課題、今後解決すべきこと	参加企業の日本アイ・ビー・エム株式会社からは「量子コンピュータ活用」と「データサイエンティスト育成プログラム」、またスローガン株式会社からは「ベンチャー企業創業者育成プログラム」という研究テーマが提示され、具体的に何をどこまで行うのかについて議論を行った。実施に当たって企業のメリットと大学のメリットを明確にし、より成果が期待できる形に持って行くことが今後の課題である。
今後の展開・フォローアップ	今後、12月に研究テーマの更なる検討と院生のグルーピングを行い、1月に集中的な議論を行って、2月にそれをまとめる予定である。

(Part 4/4) 写真

項目	内容
添付写真1 我妻三佳氏 織田一彰氏 による講演	
添付写真2 講演後のデ ィスカッシ ョン	
添付写真3 懇親会	

(2017/08/24b)